

清掃研修「転入(同和問題)」

【第1回】	【実施日】	7月10日(木)
	【受講決定者数】	68名
	【受講生の声】	・歴史的に清掃業務と同和の問題は密接に関わることであり、業務の中で直面する可能性があることがわかりました。 ・未だに根強く残る部落差別の同和問題を、よく理解できた。差別を許してはいけない意識はずっと持っていたつもりだが、詳しく知ることにより強く再認識できた。 ・同和問題の歴史と、業務の中で差別が発生した際の対応について理解ができました。
【第2回】	【実施日】	7月16日(水)
	【受講決定者数】	68名
	【受講生の声】	・今までは同和問題についての理解が浅かったのですが、今回の研修を通して、同和問題の過程や成り立ちについて詳しく知ることができました。また、現在の社会構造の実態を理解し、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現に向けて、更に意識した行動をしていきたいと思いました。 ・当初、研修課題の同和問題がどう結びつくかが不明でもあったが、今もある状況を知る事が出来た。業務に携わる身として知っておくべき事であった。 ・同和問題を含む人権問題は清掃業務だけでなく、自治体職員として正しい理解が必要だと思います。清掃業務転入者に限らず、もっと多くの職員が受講すべきと感じました。
【第3回】	【実施日】	7月30日(水)
	【受講決定者数】	39名
	【受講生の声】	・同和問題の研修を過去に複数回受講したが、新たな気づきを得ることができた。 ・自分が思っていた同和問題と実際の同和問題とは格段に差があり、もっと切迫した問題なんだと受け止める必要性を感じた。 ・ネット環境を介在した、新しい差別的扱いが、かなり実存していることが理解できた。